

あおぞうし 青草子

『バラの会』討議資料

正直がいちばん！

Honesty is the best policy.

第15号

松坂まさお

政治活動報告書

2016・6発行



『青』には「すきとおる」という意味があります。水が透きとおって（サンズイに青で）「清い」、日が透きとおって（日に青で）「晴れ」、心が透きとおって「情」であります。透明度の高い『情報公開』を目指します。



《巻頭言》

無法社会を許していいのか！

今も福島原発事故の現場は危険すぎで立ち入りもできず、収束へのめども立てられない状態が続いています。

東京オリンピック招致活動の中で、安倍総理は「福島はコントロール下にある。」と、言っただけです。よくもまあイケシャアシャアと平気で嘘をつけたものだと思えます。

目的のためなら、手段を選ばない多数派のやりたい放題が、ここ数年中央も地方も常態化しつつあります。

ルール無視。勝手な法解釈。おかしいことだらけの究極が、今年の安保法強行採決です。誰もこのままでイイとは思っていません。そこで市民が立ち上がりました。

全国の若者たちが立ち上がり、集会を開きデモを展開するようになりました。シールズの若者たちです。

労働組合系や反核運動、虐げられた人たち（例：石木ダム・イサカン）の抗議行動に限られていると思われていた運動が、一般市民に広がりました。

島原でも市民が立ち上がった！

安倍政権の違憲強行採決を阻止しようと運動は全国に広がりました。島原でも2015/8/30中央公園に300人が集まりました。違憲採決は強行されましたが、国民の怒りは持続しています。

無法社会に向かおうとする流れを止めるのは市民です。島原市民の良識が問われています。